

# 笑顔の絶えない岩槻を作るために！

12月定例会一般質問より

## 日本一笑顔あふれる給食、日本一安全でおいしい給食の実現を目指す!!

Q. 市内産の米を使用している現状とその使用量を増やすことについて伺いたい。

A. 市立学校の給食で使用する米の購入については、大きく分けて埼玉県学校給食会からと地元生産者からの二通りの方法があり、通常、埼玉県学校給食会から購入する米については、市内産を含む埼玉県内産が提供されている。市内産の米の使用は、毎年11月、12月の2か月については埼玉県学校給食会の協力により、全て市内産の米を提供していただいているため、年間を通じて地元生産者から市内産の米を購入している学校も含めて、全ての市立小・中・特別支援学校で市内産の米を使用している状況にある。

今後、市内産の米を増やすことについては、埼玉県学校給食会から2か月以上の供給が困難との回答をいただいているため、その拡大については地元生産者からの学校ごとの購入を増やしていくしかない。

現在、地元生産者から購入している学校は、各区によりばらつきがあるため、購入方法を周知するなどこれからも推進していく。また、市内産の米の使用を含め、学校給食における地産地消の推進にも努めて行きたい。



## 台風18号に伴う大雨の対応は？

Q. 台風18号でのさいたま市の活動体制と被害状況をどのように検証しているのか。また、どのように防災体制に反映していくのか伺いたい。

A. \*さいたま市の対応

さいたま市誕生以来初となる「避難準備情報」及び「避難勧告」を土砂災害警戒区域に対して発令。夜間にかけて土砂災害警戒情報の発表が見込まれたことから、9月9日18時30分に避難準備情報を発令し、該当区域の居住者に対して直接連絡を行い、早めの避難を呼びかけた。

今後、改善を要する点としては、市のホームページ、テレビ埼玉への掲載、報道発表の一部に遅れが生じたことである。避難準備情報、避難勧告等の発令が遅れることで被害が拡大することの無いよう、また適切な時期に避難勧告を発令するとともに、あらゆる情報手段を用いて速やかな情報提供に努めていく。

### \*被害状況

岩槻区の西徳力地区など低地部を中心に床上・床下浸水が多く発生。同地区は現在、調節池の整備を進めており、河川改修についても埼玉県と協議を行っている。市と県の企画調整会議がスタートしたのは元々、この徳力地区の浸水を何とかしたいという想いから、知事と話をして設立した経緯がある。抜本的な解決には、この調節池だけではなく、河川改修と大変大きくリンクしていると考えているので、埼玉県と十分協議しながら、浸水被害が無くなるよう努力していきたい。また、日頃から同地区と連携を図り、被害の早期発見、軽減にも努めて行きたい。

### \*防災体制への反映

洪水や内水被害といった水害についての備えも重要であることを再認識し、今後は水害を想定した訓練あるいは自主防災組織アドバイザーへの研修に水害対策を盛り込む等、市民の皆様に水害対策への理解を深めていただけるように取り組んで行きたい。

